奈良市民だより

昭和32年9月2日印刷
昭和32年9月5日発行

奈良市民だより
【第55号】

発行所
奈良市役所
編集兼発行人　市民課長　大西一之
印刷所　共同印刷工業

九月一日から新奈良市の発足

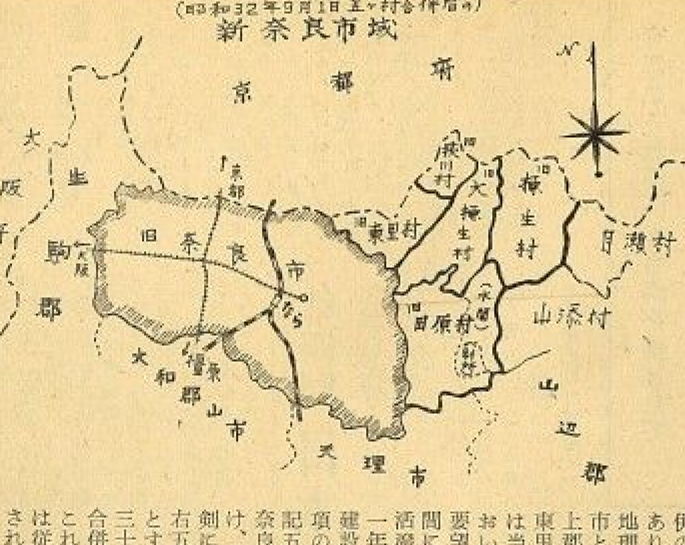
旧添上郡田原、大柳生、柳生、東里、狭川五ケ村を合併

＝新発足に寄せて＝

奈良市は自然の明びな風光に加えて上代の文化財が多数現存し、京都とともにわが国のみならず観光地として広く海外に知られており近時国際文化観光都市として新たに脚光を浴びるに至つたことは周知のとおりであります。従つて奈良市の発展を図るためには、一都市としての奈良市に止まらず、日本の奈良、世界の奈良として高度な構想をもちながらその建設計画を推し進める必要があり、文化財の保存のみでなく、時代に即応した近代的な文化施設をとり入れた新しい計画の実行が忘れられてはならないことはいうまでもありません。右の趣旨から、かねて奈良市においては東部添上山間部の観光地との連絡により観光都市としての観光資源の充実を企図する一面、昭和三十年隣接六ケ町村との合併により十二万人に近い人口を擁することになり、市民全般に対する給水の普及と水道企業の拡充合理化のため現在の揚水方式を自然流下方式に改め、その水源を東部山間部に求める計画を樹てているので早くからこれらの地域との合併の必要を認めていたのでありますが、一面歴史的、地理的また経済的にも奈良市と密接な関係をもつ旧添上郡の田原、柳生、大柳生東里、狭川の五ケ村に於ては当局ならびに住民の間において奈良市に編入合併を要望する声が昂まり、当局間における交渉はようやく活潑となり、更に昭和三十一年十二月十四日新市町村建設促進法第二十八条第一項の規定に基き奈良市と前記五ケ村の合併を行うよう奈良県知事からの勧告を受け、関係市町村において真剣に検討が続けられた結果右五ケ村の奈良市編入を可とするに至りました。昭和三十二年九月一日茲にその合併は実現いたしました。これによつて奈良市の区域は従前の約一・七倍に拡大され、面積二一〇・七一平方粁、人口一二八、六一二人となり市の行財政能力等の基礎はますます強化され将来住民の福祉増進が期待せられているのであります。

合併記念式典を盛大に挙行

九月一日、旧添上郡五ケ村が奈良市と合併をみるに当り、これが記念の式典が行われました。式は当日午前十時三十分より市立一条高校講堂で開かれ、盛大に新奈良市の発足を祝福した。


（昭和32年9月1日五ケ村合併后の）
新奈良市域

▽旧村役場は廃止して出張所に

田原、大柳生、柳生、東里、狭川の旧村役場は之を廃止し九月一日より新たに旧村名を冠する出張所として新しく発足いたしました出張所の取扱事務は戸籍、住民登録、印鑑証明、配給収税等であります。

出張所電話番号

田原出張所	茗荷局一番
柳生　〃	柳生局一番
大柳生　〃	大柳生局一番
東里　〃	須川局一番
狭川　〃	須川局四番ノ甲

奈良市第二農業委員会の設置

旧五ケ村の各農業委員会は合併と同時に廃止され、その区域を一括して奈良市第二農業委員会が設置されました。農業委員の定数は公選十三名推薦十一名となっています。

▽新町名を使用

奈良市編入により旧五ケ村の字は新たに次の町名に切り換えられました。

字名	新町名
旧田原村	
大字横田	横田町
〃　茗荷	茗荷町（みょうが）
〃　矢田原	矢田原町（やたわら）
〃　長谷	長谷町（ながたに）
〃　杣ノ川	杣ノ川町（そまのかわ）
〃　南田原	南田原町
〃　中之庄	中之庄町
〃　中貫	中貫町（なかつら）
〃　大野	大野町
〃　日笠	日笠町
〃　沓掛	沓掛町（くつかけ）
〃　此瀬	此瀬町（このせ）
〃　和田	和田町（わだ）
〃　須山	須山町（すやま）
〃　誓多林	誓多林町（せたりん）
〃　春日野	田原春日野町（たわらかすがの）
〃　水間	水間町
〃　別所	別所町
旧大柳生村	
大字大柳生	大柳生町
〃　阪原	阪原町
〃　大平尾	大平尾町
〃　忍辱山	忍辱山町（にんにくせん）
〃　大慈仙	大慈仙町（だいじせん）
旧柳生村	
大字柳生	柳生町
〃　柳生下	柳生下町（やぎゅうしも）
〃　興ヶ原	興ヶ原町
〃　邑地	邑地町
〃　大保	大保町
〃　丹生	丹生町（にゅう）
〃　北野山	北野山町
旧東里村	
〃　須川	須川町
〃　南之庄	南庄町
〃　北	北村町
〃　園田	園田町
〃　平清水	平清水町
〃　生琉里	生琉里町（ふるさと）
〃　法用	法用町（ほうよう）
〃　鳴川	東鳴川町
〃　中ノ川	中ノ川町
旧狭川村	
大字両	狭川両町
〃　西	西狭川町
〃　東	狭川東町
〃　下狭川	下狭川町
〃　広岡	広岡町

昭和三十二年度

県市民税	第三期納期	自十月十五日 至十月三十一日
固定資産税	第三期納期	自十一月十五日 至十一月三十日

（田原、東里、狭川、柳生、大柳生各出張所管内については現在のところ本年度分の納期は多少異なつております。）

無料調停相談の会

金銭貸借のもつれ、土地家屋問題の紛糾、親子関係、夫婦関係、相続問題などで悩んでおられる方は遠慮なくこの相談会を利用して明るい希望の明日を築いて下さい。

この会は責任ある奈良調停懇話会が飽くまで皆さんの秘密を守つて御相談いたします。

○相談会は九月二十七日（金）午前九時から午後四時まで。市庁別館に於て

九月十五日「としよりの日」

九月十五日、「としよりの日」であります

この日だけ改まつて老人を敬い、いたわるというのではありませんが、やはりこうした機会に老人の徳を感謝しその老後の安楽を希うことは大切なことだと思います

奈良市には現在八十八才以上の高令者が七三名（男一七女五六）おられますが、最年長者は九十二才になられます。九月十五日「としよりの日」には市長からお祝いの挨拶をかねて記念の品が贈られます

又紀寺町の養老舎「和楽園」では慰問行事が行われその他各地の婦人団体等によつて老人を敬う会が催されます

ながいきしてね！
としよりの日
9月15日

火災の防止は先づ市民の協力で

最近に於ける火災の原因を調べて見ますと、家庭に於ける石油コンロが目立つて注目せられます、それについで漏電となつています奈良市消防本部ではかねてから皆さんの御希望により各種会合の席上に出向いて、石油コンロの取扱講習や火災防止に関する指導をいたしますと共に、幻灯の映写も致して参りました、今後も町内自治会、婦人会等で防火啓蒙の座談会を進んで催される御希望がありましたら、消防本部では積極的に御相談に応じます、皆さんからの御連絡をお待ちしております

奈良市消防本部
（電七〇五一番）

（公明選挙告知板）

みんなで「話しあい」明るい社会を築きましょう

住みよい社会を、正しく明るい政治をと念願する私たちは、当然、政治と生活の結びつきを見究めようと関心を持つようになるものです。社会をよくするためには、政治がよくなければなりませんが、その政治に直接私たちの一人一人が参加することと言えば選挙のほかにありません。従つてその選挙の公正は、何よりも私たちの住みよい社会を作る基盤となりますが、選挙が行われるその時だけやかましく叫ぶばかりでなく不断から広く徹底しておく必要があります。即ち、私たちが、常時、お互に政治的教養を身につけることは、単に公明選挙を樹立するのみならず、私たちの生活をよくすることだと言えるのです。そのためには、私たち同じ生活圏にある者同志が集つて身近かな話を共にとりあげ、共に研究し共に話しあつて行くことにその出発点があります。今日、国でも、公明選挙常時啓発一般委託事業として、特にこの話しあい運動をとりあげ、全国的に呼びかけ励ましておりますが、生活－選挙－政治と結びつく「話しあい」の糸口というものはどこからでも見出されます。例へば、私たちが日常生活で経験することがらについて話しあう。もちろんそのグループは、町内の顔見知り同志でもよいし、婦人会や青年団の集会等でもよいのですが、それらの集いの目的自体がすぐ政治との結びつきに話が運ぶことでしょうし、集い自体がよくなるために、話しあうことも政治に関連性を持つているかもしれません。とにかく身近かなものについて手近かなグループで話しあい、一人一人の問題から立入つてもそれが共通の問題として取り上げられて行く時には、必ず政治への結びつきがあることを考えて、そこまで話しあいを発展させましょう。また「話しあい」を行い、お互が教養を深めて行くためには、共同に研究しあうことも必要となつてくるでしょうし、そこまで話が進捗するようにお互のグループのあり方を持つて行きましょう。そして、私たちの話しあいのつどいが大きくなればなるほど私たちの社会がよくなることに確信をもつて生活して行きましょう。

あなたのグループが、何かのつどいを持たれる時は、その後で、生活について、政治について、共同に話しあい、研究して一人一人が十分民主主義の精神を体得して、立派な代表者を選ぶ良識を持ちましょう。

（奈良市選挙管理委員会）

水道局よりお願い

市内椿井、飛鳥、済美、鼓阪、佐保、大宮の各校区内におきまして水道使用者名儀人を確認し、給水事業の一層の円滑発展を期するため来る十月一日から十一月末日に亘つて調査を行います。

この調査には水道局職員が各使用名儀人のお宅を訪問し使用名儀人とその家族数、職業、同居者等を調査致しますからお伺い致しました節はよろしく御協力の程お願い致します。

なおこの際新加入者を特にお勧め致します。

防火映画の会

とき　十月十八日（金）夜
ところ　市庁別館

上映映画
☆「燃えない工夫」
☆「電気と火事」
☆劇映画「怒れ力道山」
他にニュース、漫画数本

皆さん誘い合せて随意に御来場下さい

奈良市民の歌　歌詞決定

市民のだれにでも愛され親しまれ、どんな会合にも誰からとなく歌い交わされる「奈良市民の歌」としてさきに広く一般に募集いたしましたところ、全国各地より百七十八の応募作品が寄せられました。

審査の結果次の歌詞が「奈良市民の歌」として決定いたしました。目下作曲中でありますので遠からず一般市民の方々に発表、楽しく力強く歌い交わされる日も近いことと思います。茲にその歌詞を紹介いたしておきます。

「奈良市民の歌」

1
若草の若きほとりに
さるさわの水はほほえむ
君ありて吾あり
このまちにあふるるちから
はつらつとのぞみを燃やし
清新の風を呼ぼうよ

2
百千の花を飾して
やさしきはあしびの小径
君めぐり吾めぐり
このまちにつきぬ夢あり
かつかつとかの芝駈けて
春日野の旗はいさなよ

3
なら山の木々のこずえに
月しろはいまさしそめぬ
君はげみ吾はげみ
このまちに明日は満ちたり
あたたかくいのちゆすりて
天平の鐘はひびくよ

4
八重ひらく万朶のさくら
まごころと知性の旗を
君かざす吾かざす
このまちにふかき青雲
ほがらかに腕くみかわし
日本の幸につづかん

作詞者　大和高田市大字出　橋本竹茂

奈良市戦歿者慰霊祭

菊薫る秋の佳日を卜して奈良市戦歿者慰霊祭を次のとおり執り行います。合祀の英霊は三千六百柱で御座いますが御遺族関係者の御参拝をお願い致します。なお夫々御遺族に対しては遺族厚生会を通じて御案内致しますが、転居その他で万一通知漏れ等がありました節は、当日受付へ御申出で下さい。

日時　九月二十日（金）午前八時三十分開場、九時開祭
祭場　市庁別館大集会室

旧戸籍の改製について

明治三十一年及び大正三年に施行された戸籍法に基いて編製した戸籍は旧法による戸籍として認められて参りましたが来る昭和三十三年四月一日を以て昭和二十三年施行の新法に基いて改製しなければなりません。これは新法施行に当り十年間保留されたのが愈々その期間が満了するために改製されることになつたのであります。

之がため次に該当する方は市役所市民課又は出張所に届出て下さい。

× × ×

。昭和二十二年五月三日以前に旧法の戸籍の筆頭者（戸主）が死亡している戸籍で法定の推定家督相続人が家督相続をしているにもかゝわらずその届出手続をしていないもの

。同一戸籍内に戸籍面上百才以上の高令者が生存となつているもの。

。戸籍の本籍欄が「無番地」又は「不明番地」となつている戸籍については地番号の申出が必要です。

× × ×

なお現住所に住民登録のしていない方は此の際速かに現住所で住民登録の手続をして下さるようお願い致します。

今年こそ穂頸（ほくび）いもち病を撲滅して豊かな稔りの秋をむかえましょう

農家のみなさん!!

あなたの田圃では毎年秋のとり入れ頃になると、色あいが悪く、白穂節折れがして、実入りが悪くなることがありませんか、これは殆どが、いもち病菌によつて起るもので、稲の病害虫の中でも最も被害の大きい原因になつております

▲最近は有機水銀剤の撒布によつて、この被害も確実に防ぐことが出来る様になりました

▲しかし穂頸いもち病にかかつてから、あわてて薬剤を撒布しても効果がありません

▲この病気は穂の出る前後が最もかかりやすいので、この時期に手おくれにならないように次の方法で防除することが必要です

◎撒布薬剤

水銀粉剤（セレサン石灰、リオゲンダスト、ルベロン石灰、ミクロジン石灰等）反当り三～四キロ

液剤（水銀乳剤、撒布用水銀液剤）反当り一石

◎撒布の時期と回数

穂孕期（ほばらみき）と穂揃期（ほぞろいき）の二回必ず撒布すること

やむを得ず一回しか出来ない場合は穂孕期に共同で一斉に撒布すること

御礼

農家の皆さん

本年度米の予約申込につきましては皆様の格別の御協力によりまして予定量を超過して良好なる成績を挙げ得ました事は誠に感謝の外はありません茲に衷心より厚く御礼申述べます

なお今後の出荷につきましてもよろしくお願い致します

奈良市長　高椋正次

緊急畜産統計調査に御協力願います

畜産状況の実態について緊急に統計調査を行う必要がありますので九月一日現在の各農家等の畜産状況を実態調査いたします。調査については各地区の調査員が九月中に実地に各家庭を訪問の上調査いたしますからその節は何卒御協力下さいますようお願い致します

第四回　日本学書展

全国でも有数の筆墨主産地であり教育書道の伝統を誇る奈良市において日本学書展は既に三回開催され、その都度数万点の応募作品を得て盛大に行われて参りましたが、本年は十一月中旬その第四回を開催いたします。

文部省が主催する日展は成人を対象とした権威ある展覧会でありますが、この日本学書展は学生生徒児童を対象とした権威ある展覧会「学生の日展」としての使命を荷うものとして全国的支持協賛を得て参りました。

本年秋の第四回「日本学書展」は次の要領により開催します。学生生徒児童諸君は奮つて応募されるよう希望いたします。

十一月開催を控え地元各位の御理解と各方面の御協力をお願い致します。

第四回日本学書展

主催　奈良県、奈良市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会

後援　文部省、各都道府県教育委員会、全国高等学校長協会、全日本中学校長会、全国連合小学校長会、日本書道連盟、日本書芸院、奈良県書道教育研究会、奈良県商工会議所、読売新聞社

―出品規定―

一、会場と会期

奈良会場　奈良市庁舎別館　十一月十六日（土）より二十三日（土）まで

東部会場　交渉中　十二月上旬の予定

西部会場　交渉中　十二月中旬の予定

二、部門並に出品物

第一部　小学校児童、毛筆によるもの、題材自由ただし漢字は教育漢字による。半紙（三三センチ×一九）小画仙八分の一（七〇×一八センチ）画用紙（四つ切以内）＝ポスター表紙、文字、標語広告、掲示等実用的な用途を持つたもの

第二部　中学校生徒、毛筆によるもの、題材自由ただし漢字は当用漢字による。半紙（第一部に同じ）小画仙半切縦書（一四〇×三五センチ）画用紙大の用紙＝第一部に準じる。

第三部　高等学校生徒、大学学生、毛筆　**漢字**　小画仙半切又は連落（一四〇×五〇センチ以内）

第四部　高等学校生徒、大学学生、毛筆　**かな**　画仙半切、懐紙、半懐紙帖、巻物（横物は二四×一五〇センチ以内）

三、作品処理費　二十円、出品一点毎に作品処理費として出品者に於いて負担すること

四、出品方法

1、出品物はすべて学校でまとめ、出品目録を付して一校分を一包として送ること（作品処理費もまとめて、小為替振替郵便で送ること）（備考欄参照）

2、出品物は表装せず書き下しのまゝ出品すること

3、出品作品は一人につき一部一点とする。

4、出品物には必ず「出品券」を作品一点ごとに右下にのりづけすること

5、出品作品は返却しない。

五、作品の〆切　三十二年十月十九日（土）限り

送り先＝奈良市東寺林町　奈良市教育委員会内「日本学書展事務局」宛

六、審査員

豊道春海　辻本史邑

安東聖空

有元成蹊　新井碧堂

安達嶽南　天石東村

今井凌雪　乾　鍵堂

上原欣堂　大沢碧水

大館桂堂　岡本白濤

奥山錦洞　小野田湖南

狩田巻山　神崎紫峰

小島芳堂　小松直行

近藤摂南　昆布栖嶽

椎野開嶽　杉本長雲

炭山南木　桑谷鶴村

高木鳴鳳　滝沢良芳

竹沢江東　田中塊堂

田中双鶴　辻本九華

西村桂洲　西谷卯木

能勢海旭　梅　舒適

橋本柴聞　東野梅軒

樋口尾山　平田華邑

藤原鶴来　深山竜洞

水嶋鶴山　三原研田

宮本竹逕　村上三島

米田玉泉　（五十音順敬称略）

七、褒賞

特賞　賞状・副賞（カップ）特賞バッジ

文部大臣賞（四名）奈良県知事賞（四名）奈良県教育委員会賞（三名）奈良市長賞（四名）奈良市教育委員会賞（三名）奈良県議会議長賞（三名）奈良市議会議長賞（三名）全国高等学校長協会代表賞・全日本中学校長会長賞・全国小学校長会長賞（以上各一名）日本書道連盟賞（四名）日本書芸院賞（三名）奈良県書道教育研究会賞（三名）奈良県商工会議所会頭賞（三名）読売新聞賞（四名）

天賞・地賞　賞状・副賞（メタル）入賞バッジ約二百名

入賞　賞状・副賞（書道用具）入賞バッジ約八百名

佳作賞　賞状・佳作バッジ約四千名

入選　賞状約一万名

授賞式　昭和三十二年十一月二十三日　奈良会場において、午前十時より

八、成績発表　十一月上旬読売新聞紙上に佳作賞以上につき成績発表を行う予定

十一月上旬各学校出品者宛入落、入賞等通知する

九、入賞目録　審査結果は佳作賞以上を総覧して一「入賞目録」を作成し、団体出品学校宛贈呈する、なお希望者には一部当り実費四十円で頒布する

備考　成績処理費・入賞目録代金等は小為替又は振替郵便（大阪一七〇九一番、奈良市役所内日本学書展宛）を以つて送金すること

現在の奈良写真コンテスト後記

市制六十周年記念行事に一層の精彩を添えるため募集した現在の奈良写真コンテストは一、六四九点という多数の優秀応募作品から去日入江泰吉、川崎亀太郎長谷川梅之助の三氏による審査の結果

推せん　「奥山の仏たち」　矢野正善（西ノ京町）

特選　「奈良公園にて」　広岡康男（瓦堂町）

「大仏殿」　徳沢金雄（尼崎市）

準特選　「修学旅行」　田代秀之助（布施市）

「赤膚焼」　竹中正男（法華寺町）

と決定した。なおこれらの作品はその他の作品と共に明春記念行事期間中現在の奈良紹介綜合作品展に発表することになつています。

―**推せん**　「奥山の仏たち」（六枚組ノ一枚）　矢野正善作（西之京町）―

定期講座案内

奈良市教育委員会社会教育課では一般社会人、青少年の教養を高め情操を豊かにするため次の講座を開いております

入会希望者は主催者又は会場にて申込んで下さい。

☆書道講座

△毎週火曜日午後六時から九時まで

△**会場**　奈良市庁別館

△**講師**　奈良育英高校教諭　藤原逸治

△**会費**　入会費一〇〇円　毎月一〇〇円

☆奈良合唱団

△毎週水曜日午後七時より九時まで

△**会場**　NHK奈良放送局スタジオ

△**講師**　奈良学大声楽教官　林　忠保　吉田　弘子

△**会費**　入会費一〇〇円　毎月五〇円

☆奈良市民合唱会

△毎週木曜日午後六時から九時まで

△**会場**　奈良市庁別館

△**講師**　寺本六郎

△**会費**　無料

☆市民英語会話講座

△毎週月曜日午後七時から九時まで

△**会場**　奈良市庁別館

△**講師**　天理大ミスバンキスト（米人）

△**会費**　入会費二〇〇円　毎月一〇〇円

お願い

皆さんからこの講座についての感想や新しい講座の希望をお知らせ下さい

たばこは市内で買いましょう

たばこは小売人が販売いたしますと、その売上の百分の九に該当する消費税がたばこ小売人の営業所のある市町村に収まります。ピース一個で三・六円、光は二・七円になります。こうして昭和三十一年度には奈良市内のたばこ小売人の総売上から三千五百九十一万六千円の消費税が市の収入となりました。然もこの収入には何の人件費もかゝらない全くの収入であります。市民愛煙家の皆さんはつとめて市内で煙草をお求め下さるようお願いします。

世界の名曲を鑑賞する

月例『L・Pコンサート』九月の催し

市民の皆さんに心の糧としてお贈りする、古いもの新しいもの数々の世界の名曲を集めて月例L、Pコンサートを催しておりますこの名曲鑑賞会は毎月行つておりますが九月の催しは次の通りであります、初秋の風吹きわたる夕べのひとときを皆様お誘い合せ、心ゆくまで御鑑賞下さい又これからの月々の催しに御期待下さい

☆L、Pコンサート九月の催し

とき　九月十日（火）午後六時三十分（時間厳守）

ところ　市庁別館大ホール

プログラム

(1)ヴェルデー曲　歌劇「アイーダ」大行進曲　フィードラー指揮　ボストン・ポップス・オーケストラ

(2)チャイコフスキー曲「白鳥の湖」第二幕　ストコフスキー指揮　フィラデルフィア・オーケストラ

(3)ヴェートウベン曲　ヴァイオリン協奏曲ニ長調　ハイフエッツ（ヴァイオリン）

(4)シューベルト交響曲第八番「未完成」

ミュンシュ指揮　ボストン交響楽団　（盛況の会場）

定期種痘の日程

予防接種法の定めにより次のとおり定期種痘を行いますから該当者は必ずうけて下さい

●接種者の範囲

(1)第一期　昭和三十二年一月一日から六月末日までの出生児

(2)第二期　昭和三十三年度小学校入学予定者

(3)第三期　昭和三十三年度小学校卒業見込者

(4)前年度未接種者　病気延期者及び陰性者

●接種日時及び場所

接種月日	検診月日	実施時間	校区別	実施場所
九月九日	九月十六日	後一・三〇～三・三〇	大安寺	大安寺小学校
〃十一日	〃十八日	後一・三〇～四・〇〇	鼓阪	鼓阪小学校
〃十二日	〃十九日	後一・三〇～三・三〇	富雄北	富雄北小学校
〃〃	〃十九日	後一・三〇～三・三〇	富雄南	富雄南小学校
〃十三日	〃二十日	後一・三〇～四・三〇	大宮	大宮会館
〃二十四日	十月一日	後二・〇〇～三・〇〇	精華	精華小学校
〃二十五日	〃二日	後一・三〇～三・〇〇	辰市	辰市小学校
〃二十六日	〃三日	後一・三〇～三・〇〇	明治	明治小学校
〃二十七日	〃四日	後一・三〇～三・三〇	平城	平城診療所
十月七日	〃十四日	後一・三〇～三・〇〇	伏見	伏見出張所
〃八日	〃十五日	後一・三〇～三・〇〇	帯解	帯解出張所
〃九日	〃十六日	後一・三〇～四・〇〇	椿井	椿井小学校
〃十日	〃十七日	後一・三〇～四・〇〇	佐保	愛ノ園幼稚園
〃十一日	〃十八日	後一・三〇～四・〇〇	済美	済美小学校
〃二十二日	〃二十九日	後一・三〇～三・三〇	東市	東市診療所
〃二十三日	〃三十日	前一〇・〇〇～正午	都跡	都跡診療所
〃二十四日	〃三十一日	後一・三〇～四・〇〇	飛鳥	飛鳥小学校

●接種料金　十円

要援護者は担当民生委員の証明書を提出すれば無料であります